


<資料5-1>

令和5年度 藤枝市行政サービス評価委員会

地方創生事業（デジタル田園都市国家構想交付金（実装タイプ））事業評価シート



令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金【実装タイプ】事業評価シート								事業No.	1
事業名	基礎自治体の窓口業務における住民サービス向上～書かない窓口の実現～							作成責任者	
事業開始年月	令和5年2月	事業終了年月	令和5年3月	担当課	市民協働部市民課			町田真季	
交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金【実装タイプ】（基礎自治体の窓口業務における住民サービス向上～書かない窓口の実現～）			事業費	事業費（円）	50,531,910	うち交付金充当額（円）	25,265,955	
事業目的	各業務システムとのデータ連携による、利便性・効率性の向上に向けた検討により、「書かない・手続き漏れの無い窓口」を実現し、市民の利便性向上と事務改善による業務量の削減を目指す。				 				
事業概要	<p>窓口業務支援システムを導入し、市役所各課の窓口で「書かない窓口」のサービスをスタート。申請者本人が記入している「各種証明書の申請書」や「市役所に提出する書類」などを、システムを使って聞き取りにより作成し、申請者は「署名のみ」で手続き可能となる。これにより、市民の皆様がより便利に利用しやすい窓口を推進する。</p> <p>（1）証明書発行に係る申請受付業務、（2）住民異動に係る受付業務</p>								
事業経費内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・役務費 657,800円（カウンター移設作業ほか） ・委託料 46,735,700円（システム導入委託、システム連携委託）（委託先：株式会社エイジェック） ・工事請負費 2,260,500円（発券機移設工事ほか） 								
	項目				評価				
事業の有効性	全体の成果目標（KPI）の達成に資するために有効な事業であったか。				2：KPIの達成に有効であった				
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				2：効率的であったが、低コストでなかった				
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生（しごととひとを継続的に呼び込む）に有効であったか。				2：地方創生に相当程度効果があった				
事業の評価	<p>システムの導入に併せて、RPAの導入及び様式の統一化を図ったことにより、受付窓口の対応時間の短縮、及びバックオフィスの処理時間の短縮の効果があつた。</p> <p>証明受付では、来庁者の滞在時間の短縮は、隠微ではあるものの平均して1分程度の短縮が見られた。住民異動届（転入、転出、転居、世帯主変更等）では、証明受付に比べ、平均して6分程度の短縮が見られた。また、複合的な手続き（住民異動届(転入)+証明書等手続き（例：住民票、印鑑登録、印鑑証明書）ほど、その効果は顕著に表れた。</p>			今後の方針		<p>「書かない窓口システム」をより効果的に活用するために、今後も庁内関係課との連携も含め、以下について検証していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効果、課題等の整理による、よりスムーズな運用。 ・市民の更なる利便性の向上（負担の軽減）と事務処理の効率化。 			

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金【実装タイプ】事業評価シート								事業No.	2
事業名	多機能カーブミラーによる交通安全対策推進事業							作成責任者	
事業開始年月	令和4年9月	事業終了年月	令和5年3月	担当課	交通安全・地域安全課 道路課 情報デジタル推進課			岩井 亮憲	
交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金【実装タイプ】 <small>(多機能カーブミラーによる交通安全対策推進事業)</small>			事業費	事業費(円)	19,387,500	うち交付金充当額(円)	9,693,750	
事業目的	デジタル技術を活用し、藤枝市内で発生する人身交通事故の3割を占める「交差点における出会い頭事故」の削減を図る。				 <p style="text-align: center;">点灯の様子</p>				
事業概要	LED及びBSMを搭載した「多機能カーブミラー」を官民共同で開発し、市内の危険が予測される小学校付近の交差点4か所に計4基5枚を設置する。車両接近時にLEDやBSMを点滅させることで通過する車両や歩行者に注意喚起を行い、出会い頭事故を防止する。								
事業経費内訳	【ソフト経費】通信費(データ収集 5枚×4か月) 759,581円 【ハード経費】設計、開発、制作費 8,928,131円 設置費 4,176,259円 保守点検費 1,313,276円 諸経費 4,210,253円								
	項 目				評 価				
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2: KPIの達成に有効であった				
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				2: 効率的であったが、低コストでなかった				
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				3: 地方創生に効果があった				
事業の評価	法律で一時停止が定められていない、主路線における通過車両の減速率が設置後に8%増加していることから、事故防止効果が得られたと評価できる。市内における出会い頭事故発生件数及び人身交通事故発生件数は目標を上回る減少となり、引き続き多機能カーブミラーの機能周知を図りながら、効果を検証していく必要がある。			今後の方針		設置した多機能カーブミラーの効果検証を継続しつつ、効果的な低コスト機器の開発があれば増設を検討する。			